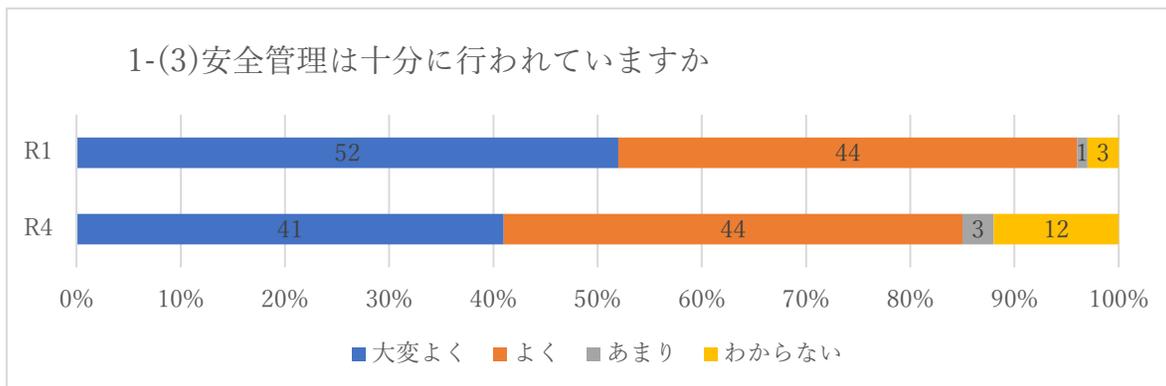
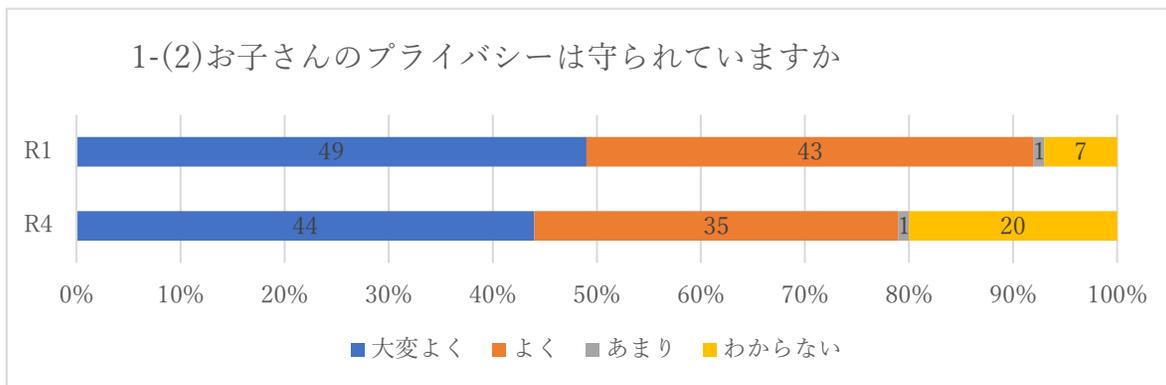
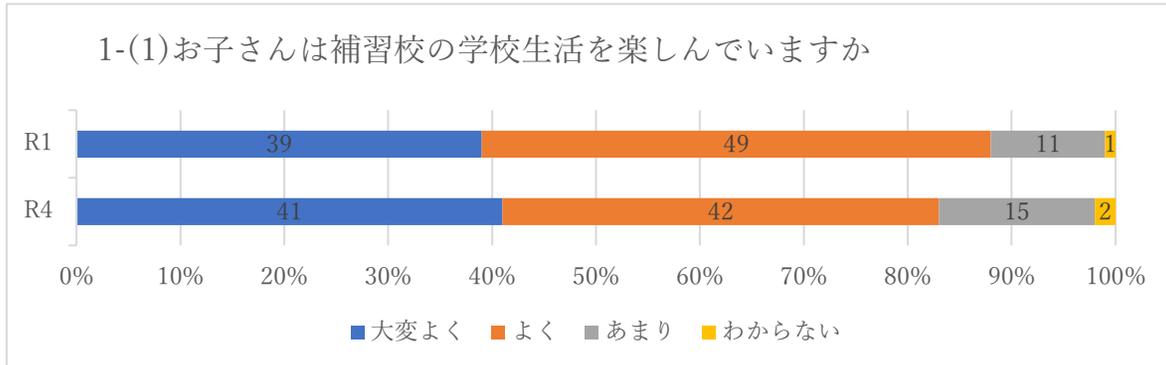


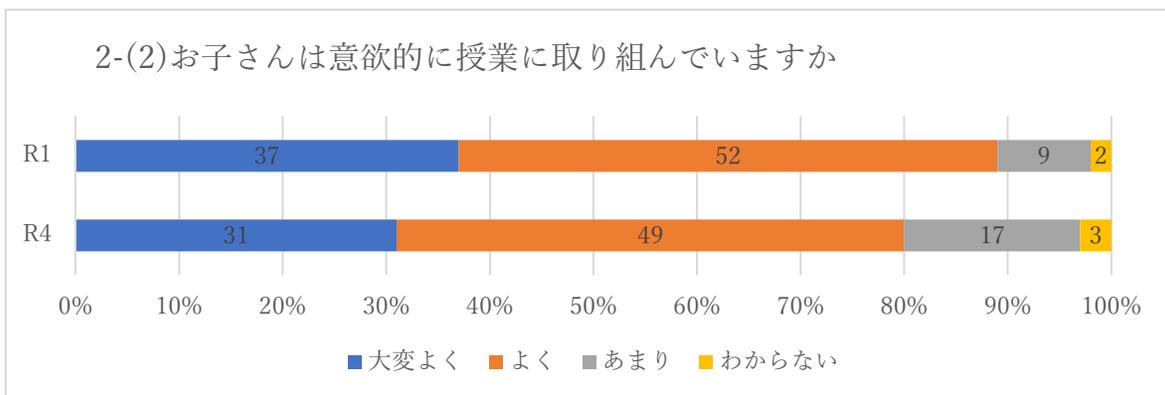
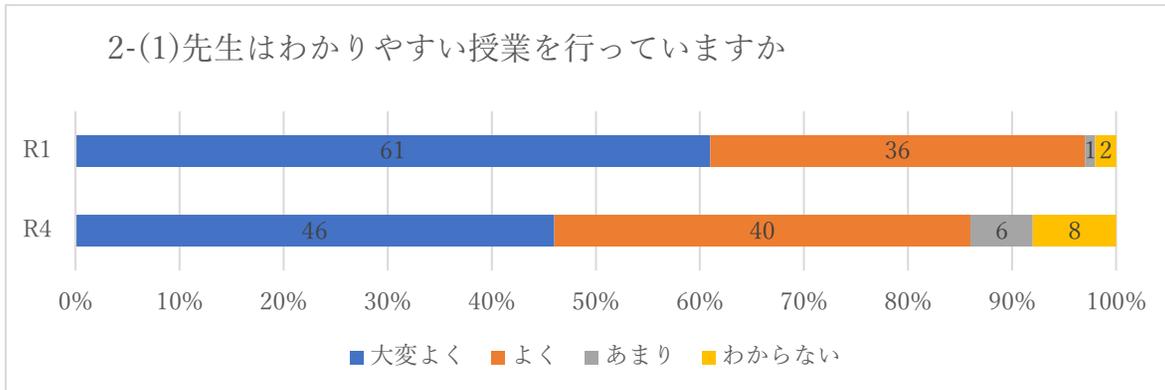
令和4年度 教育活動アンケート 集計結果について（令和元年度との比較）

1 学校生活全体について



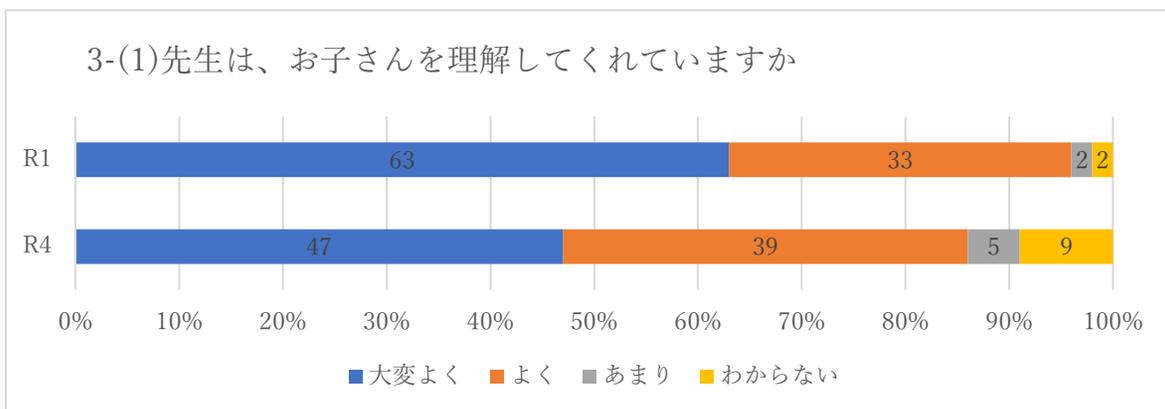
(1)の「大変よく」が少し増えているものの、「大変よく」と「よく」を合わせた肯定的な評価は、3つの項目ともに減少しています。特に、(1)「学校生活を楽しんでいますか。」において「あまり」が15%と多くなっているのは、大変気になる結果です。また、(2)(3)において、「わからない」が増えていることから、学校の様子がよく伝わっていない状況があることがわかりました。

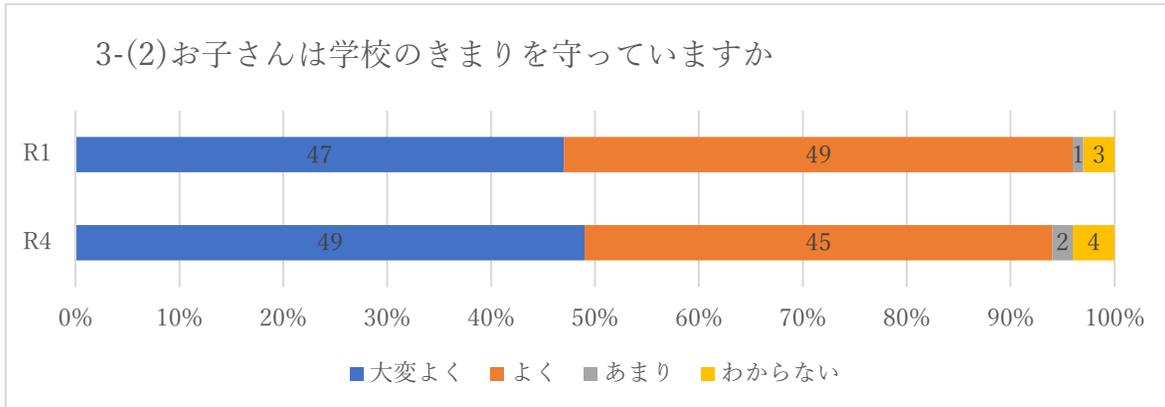
2 学習指導について



(1)では、肯定的評価は下がっているものの、3年ぶりの対面授業再開という難しい状況の中で、先生方がよく努力されていると考えます。しかし(2)では、「あまり」が17%と多くなっており、心配です。学習にあまり意欲的でない状態が、1(1)の「あまり楽しくない」につながっている可能性が考えられます。

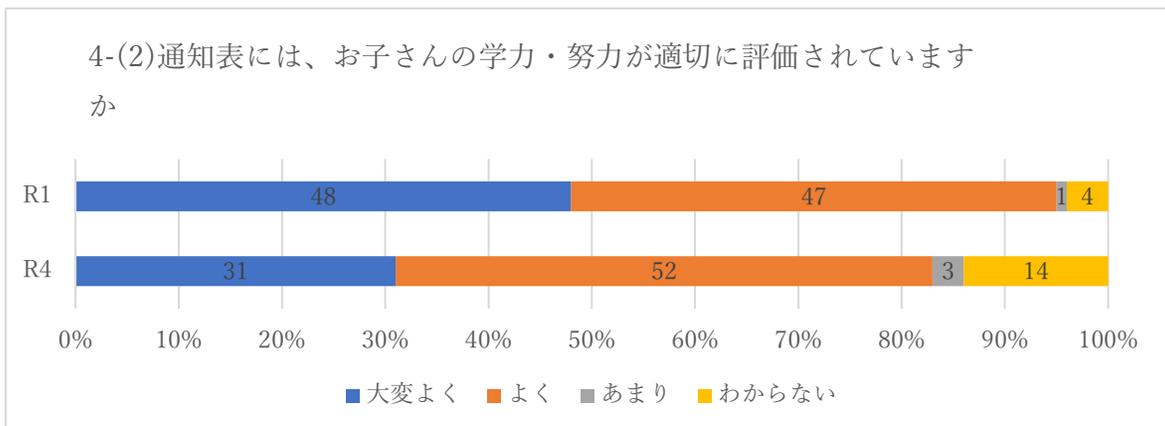
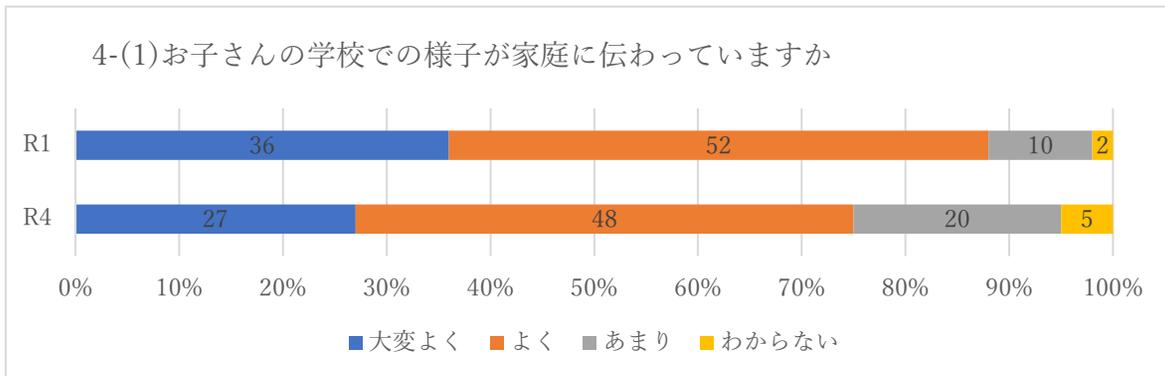
3 児童・生徒指導について





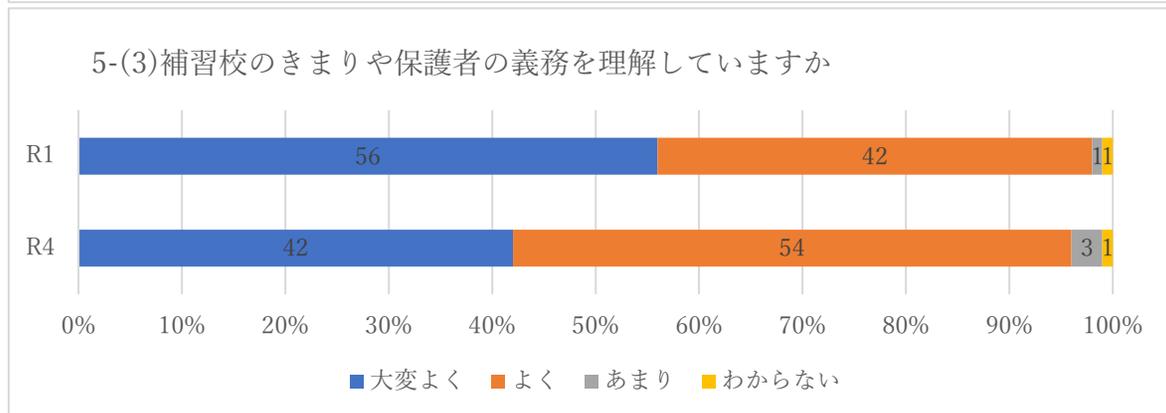
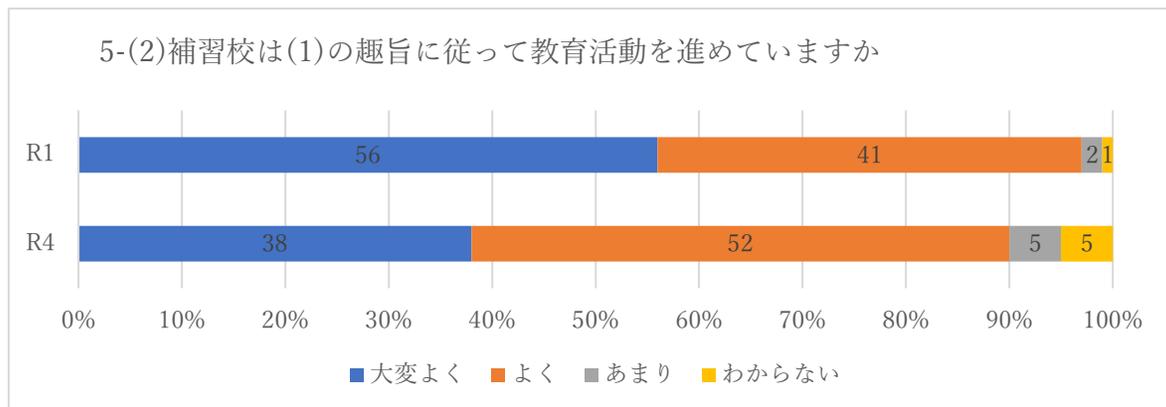
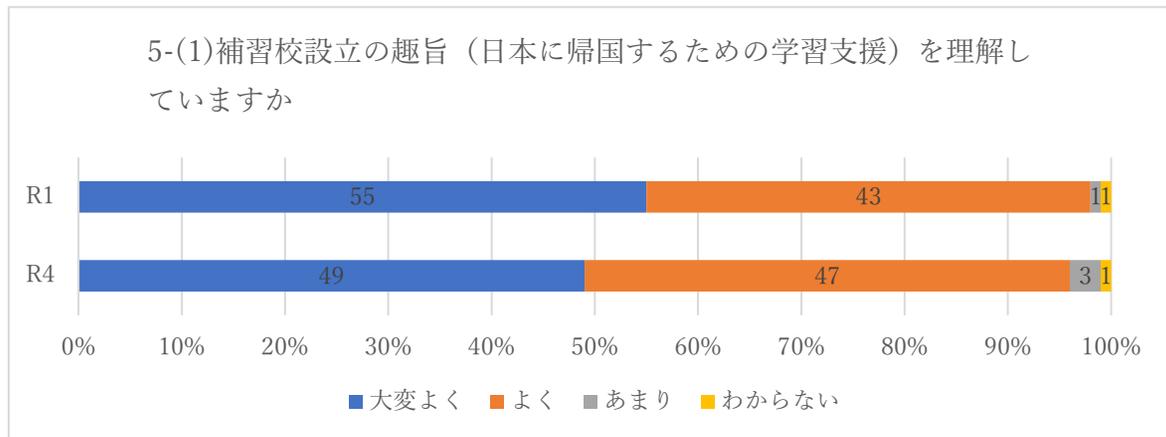
(1) では、肯定的評価は下がっているものの、多くの子どもたち・保護者が、先生方を信頼しているととらえています。また、(2)からは、子どもたち・保護者の皆様が、補習校を大切に考え、きまりを守ってくださっていることに感謝します。

4 家庭との連携について



(1)からは、1の(2)(3)と同じく、学校の様子がよく伝わっていない状況が表れています。また、(2)では、「わからない」が増えており、3年ぶりに対面授業が再開したことに加えて、今年度より通知表の評価項目が改訂されたことについて、説明が十分ではなかったことが考えられます。

5 補習校の教育方針に対する保護者の皆様の理解について



5の3項目については、1から4までの項目に比べて、肯定的評価の減少の幅が小さくなっています。多くの保護者の皆様が、日本語補習校の理念と活動についてご理解くださり、ご支援くださっていることの表れと受け取り、感謝いたします。

〈記述欄へのご意見等について〉

「対面授業が再開し、先生方の素晴らしさ、友達のありがたさを感じた一年間でした。」「いつも子供達を温かく迎えてくださり、感謝しております。」など、記述欄には、多くの皆様から温かいご感想や大切なご意見をいただきました。

設立から50年以上が経過し、様々な状況が変化していることから、補習校のあり方について見直しを求めのご意見が数名の方からありました。日本語補習校（補習授業校）の意義や役割については、文部科学省によって定められており、運営についても指導・監督を受ける立場にあります。したがって、本校の方針については、容易に変更できるものではありません。しかし、現地に長く在住する児童・生徒が増えていることから、より多様な子どもたちに対応できるよう、教育活動について見直しをしていくことは必要であると考えています。

また、数名の方から、宿題の量や漢字・語句の指導方法、先生の指導の仕方等、実際の学習指導についてご意見をいただきました。これらについては、現在実態把握に努めております。できるだけ客観的に判断し、適切な学習量や指導方法、指導の仕方となるよう留意してまいります。

なお、現在補習校を運営するにあたって、現地校の校舎を借用することが大変難しい状況です。本校事務局が困難な交渉の末、やっと借用できている現状です。

借用に当たっての約束事も厳格に決められており、毎回「現状のまま」「来た時よりも美しく」を心がけております。「雨天時に廊下で昼食をとるのは好ましくない」

「駐車スペースがなくて困る」等のご意見をいただきました。お気持ちは重々承知しますが、事務局の努力によって解決できない問題もありますことを、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

そのほか、この場で全てのご意見にお答えすることはできませんが、一つ一つを真摯に受け取り、教育活動の改善に努めてまいります。

〈アンケート全体を通して〉

今回のアンケートでは、回答率が4校合わせて、約36.5%（幼児・児童・生徒数1338名に対して、回答数489件）でした。これは令和元年度の約65%と比較して、大幅に低くなっています。これは、令和元年度が紙ベースによる配付・回収だったのに比べて、今年度はGoogleフォームによる回答形式を採用したこと、また、学校と家庭との連絡方法が多様化したことで、かえって学校からの情報が、適切に伝わりにくくなっていることが考えられます。回答率は低いものの、全体の傾向をとらえることは、できていると考えます。

アンケートの集計では、どの項目も「大変よく」と「よく」を合わせた肯定的な評価が約80%以上となっており、全体的には本校の教育活動を肯定的に受け取っていただいていると考えています。しかし、令和元年度に比べて全ての項目において、肯定的な評価が下がっているという残念な結果となりました。約2年間のオンライン授業を経て、皆様のご理解ご協力のもと、対面授業が再開できてから、もうすぐ1年になろうとしています。このアンケート結果をふまえて、次の3点を特に改善していきたいと考えております。

- 子どもたちが、楽しく意欲的に学習に取り組めるように授業改善に努める。
- 幼児・児童・生徒理解に心がけ、信頼される教職員をめざす。
- 学校と保護者・家庭が適切に情報交換を行い、子どもたちの様子がしっかり伝わるように努める。

年初めのお忙しい中、教育活動アンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。今後とも、よりよい教育活動の推進のため、ご理解ご協力をお願い申し上げます。